

NPO法人オンザロード 台風12号災害支援プロジェクト和歌山活動報告書

平成 23 年 10 月 1 日～ 10 月 10 日

【那智勝浦町情報】

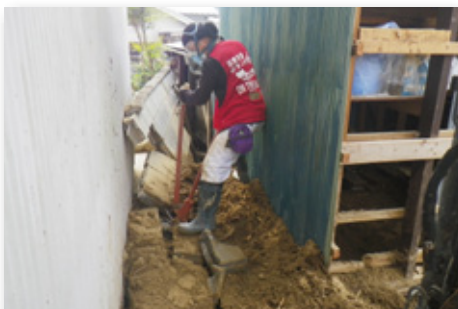
- 担当地域名：和歌山県那智勝浦町市野々地区、井関地区、八反田地区
- 避難者人数：那智勝浦町 110 人 指定避難所：グリーンピア南紀
- 全壊家屋数+半壊家屋数：現在調査中
- 床上浸水家屋数：1504棟 床下浸水家屋数：962棟 非住家浸水数：18 棟
- ライフラインの復旧状況：水道に関して仮復旧済み。電気、水道はほぼ復旧。 ※10月10日和歌山県調べ

■現在の活動内容：



台風 12 号で大きな被害を受けた和歌山県那智勝浦町の市野々、井関、八反田の 3 地区。オンザロードは 10 月 1 日より現地入りし、那智勝浦町社会福祉協議会と連携をとりながら、ガレキや土砂などの撤去作業を主に行っています。東日本大震災後、東北地方の被災地での支援活動を続けてきた片付け班の班長、副班長を務めた者を中心にボランティア参加者を指揮しながら、ニーズを 1 件ずつ完了させています。

□各班の活動内容



●片付け班

- ・オンザロードボランティア延べ 92 人
- ・那智勝浦町社会福祉協議会ボランティア延べ 680 人と連携
- ・担当地区：那智勝浦町市野々地区、井関地区、八反田地区
- ・廃棄物、土砂撤去量：896.5 t
- ・側溝、用水路総清掃長：1,110m

台風 12 号から 1 ヶ月経ちましたが、ドロ、土砂、ガレキを撤去しなければならない家屋や建物が那智勝浦町にはまだ沢山あります。社会福祉協議会が災害ボランティアセンターに登録された方々に力を貸していただき、片付け作業を進めています。また東日本大震災災害支援プロジェクトにも携わっていた重機のスペシャリストがユンボなどを使用し、地元業者とともに人力ではできない大規模なガレキや土砂の撤去や整地を行っています。



●ボランティアビレッジ運営班

- ・ 87 人
- ・ 食事、洗濯、掃除、設備、物資管理、被災状況調査、避難所サポート班準備、旅行班準備、災害対策本部担当

和歌山県東牟婁郡串本町に、30 人程度がキャンプを張ることのできる宿泊場所を無償で提供していただいたことにより、ボランティアビレッジを構えました。ボランティアリーダーおよびボランティアが生活できる設備を整えています。そのほかの活動では、被災状況や避難者の声を独自に調査し、今後行っていかなければならない災害支援について方向性を定めています。



■今後の予定：

撤去作業を進めながら、那智勝浦町の避難者110人が生活する避難所、グリーンピア南紀の支援活動を行う準備をしています。現在避難所で配給されている食事は朝食に菓子パン、昼夜におにぎり2個と少量のおかずが入った弁当と、栄養の偏りが目立つ内容になっている状況。そこでオンザロードは、栄養のバランスが取れた野菜、肉を使った1品と温かい汁物1品を炊き出しさせていただき、避難者の健康をサポートさせていただこうと考えています。また、移動手段がなく避難所からの身動きが困難な方が多いため、避難所から被災地区などへの送迎サービス、避難所で生活している高齢者の方のケアを行っていく予定です。

■課題、ミッション：

台風12号被害については、メディアなどにあまり取り上げられていない為、一般の方へ情報があまり浸透していません。その上、また那智勝浦町自体でも海側の地域は被害がほとんどなかった為、関心が薄い状況となっています。しかし山間部は甚大な被害を受けている為、ボランティアの力が必要な状態です。ドロ、土砂、ガレキの撤去、避難所サポートなどを行いながら、世間一般に被災地の情報を正確に発信していかなければなりません。震災直後から石巻市を中心に支援活動を行ってきたオンザロードと、世界を元気にしよう!をコンセプトに様々なツアーを企画、運営をしているH.I.S.が石巻で共催してきた復興支援の旅を、世界遺産で有名な和歌山県那智勝浦町でも催行していく予定です。これらの活動を行うために炊き出しの食材費、車両の燃油費、ボランティアビレッジの運営費などの活動資金が必要になってきております。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。